

Oracle® Cloud

Oracle Planning and Budgeting Cloud 用の Financial Reporting
の管理

E72951-01

Oracle Cloud Oracle Planning and Budgeting Cloud 用の Financial Reporting の管理 ,

E72951-01

Copyright © 1989, 2015, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

Primary Author: EPM Information Development Team

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel, Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMD ロゴ, AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

ドキュメントのアクセシビリティについて.....	v
ドキュメントのフィードバック.....	vii
1 Planning and Budgeting Cloud Workspace の管理	
管理オプションの表示.....	1-1
ユーザーおよびグループのプリファレンスの割当て.....	1-1
Planning and Budgeting Cloud Workspace サーバー設定へのアクセス.....	1-1
ユーザー・インタフェースのカスタマイズ.....	1-2
デフォルト言語の選択の変更.....	1-2
ユーザー・ログオフ後の URL のリダイレクト.....	1-2
クライアント・インストーラへのアクセスの削除.....	1-3
アイテムとフォルダの編成.....	1-3
コピー.....	1-3
2 Financial Reporting 注釈の検索と管理	
注釈の検索.....	2-1
注釈と関連付けられたレポートの表示.....	2-2
注釈への返答.....	2-2
注釈の削除.....	2-2
注釈に対するソースの変更.....	2-3
セル・テキスト、プランニング・ユニットの注釈、およびドキュメントの添付ファイルを注釈として表示.....	2-3
注釈コンテキスト要素の変更.....	2-3
注釈権限の変更.....	2-4
注釈の監査.....	2-4
3 他の Financial Reporting オブジェクトと同じ名前を持つスナップショット・ブックを開く	

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクル社のアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc> を参照してください。

Oracle サポートへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細は、<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>、聴覚に障害があるお客様は <http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs> を参照してください。

ドキュメントのフィードバック

このドキュメントに対するフィードバックは、epmdoc_ww@oracle.com に送信してください。

次のソーシャル・メディア・サイトで、EPM Information Development をフォローしてください。

LinkedIn - http://www.linkedin.com/groups?gid=3127051&goback=.gmp_3127051

Twitter - <http://twitter.com/hyperionepminfo>

Facebook - <http://www.facebook.com/pages/Hyperion-EPM-Info/102682103112642>

Google+ - <https://plus.google.com/106915048672979407731/#106915048672979407731/posts>

YouTube - <https://www.youtube.com/user/EvolvingBI>

Planning and Budgeting Cloud Workspace の管理

管理オプションの表示

ユーザーおよびグループのプリファレンスの割当て

Planning and Budgeting Cloud Workspace サーバー設定へのアクセス

ユーザー・インタフェースのカスタマイズ

アイテムとフォルダの編成

コピー

管理オプションの表示

Planning and Budgeting Cloud Workspace の管理オプションを表示するには、「ナビゲート」、「管理」の順に選択します。

ユーザーおよびグループのプリファレンスの割当て

デフォルト・プリファレンスで正常に動作できるためには、指定されたフォルダおよびインタフェース要素にアクセスするために必要な役割および権限がユーザーおよびグループに必要です。プリファレンスを管理するには管理者権限が必要です。コンテンツを表示するには、十分な権限も必要です。個人およびグループのプリファレンスは、デフォルトのプリファレンスより優先されます。

ユーザーおよびグループのプリファレンスを割り当てるには:

1. Planning and Budgeting Cloud Workspace で、「ナビゲート」、「管理」、「Workspace 設定」、「プリファレンスの管理」の順に選択します。
2. 「ユーザーの選択」で、「使用可能なユーザー」または「使用可能なグループ」を選択してから、「リストの更新」をクリックします。
3. 目的のユーザーまたはグループを「使用可能なユーザー」または「使用可能なグループ」から「選択されたユーザーとグループ」に移動し、「次」をクリックします。
4. 「プリファレンスの管理」で、選択したユーザーおよびグループに対するスクリーン・リーダー・サポートを有効にするかどうかを指定します。
5. 「次へ」、「終了」の順にクリックして、ユーザーおよびグループのプリファレンスを保存します。

Planning and Budgeting Cloud Workspace サーバー設定へのアクセス

Planning and Budgeting Cloud Workspace のサーバー設定にアクセスするには、「ナビゲート」、「管理」、「Workspace 設定」、「サーバー設定」の順に選択します。

注:

Planning and Budgeting Cloud Workspace のサーバー設定を変更する場合は、変更を有効にするためにログアウトしてブラウザを再起動する必要があります。

Table 1-1 Planning and Budgeting Cloud Workspace サーバー設定

設定	説明
デフォルトのロケール	ユーザー要求のロケールをロードできない場合のアプリケーションのデフォルトのロケール
ポスト・ログオフ URL	ユーザーがログオフした後の UI のリダイレクト先 URL。
Smart View URI	Oracle Smart View for Office クライアント・インストーラの URI。絶対 URI でも相対 URI でもかまいません。 ここで入力される URI は、Planning and Budgeting Cloud Workspace から「ツール」、「インストール」、「Smart View」の順に選択するとアクセスされる URI です。
Workspace のインストーラ・メニュー・アイテムの使用可能	Planning and Budgeting Cloud Workspace でインストーラ・メニュー・アイテムを有効化するかどうか。これらのアイテムは、「ツール」メニューにあります。デフォルト値は「はい」です。

ユーザー・インタフェースのカスタマイズ

ユーザー・インタフェースのカスタマイズには、次の項目が含まれます:

デフォルト言語の選択の変更

Planning and Budgeting Cloud Workspace では、ユーザーの Web ブラウザからロケール情報が読み取られ、ブラウザ・ロケール設定に基づいて使用する言語が選択されます。特定の場合において、ユーザーは、ブラウザ・ロケールで決定される以外の言語でコンテンツを表示できます。ユーザーは、Web ブラウザ言語オプションに言語を追加し、ブラウザで使用する言語をリストの上部に移動して、ロケールベースの言語の選択を上書きできます。

Planning and Budgeting Cloud Workspace では、優先度の順序でサポートされている言語が自動的に選択されます。ここでは言語とロケール・コード間の正確な一致が試行されます。一致する条件に近いものが見つからない場合、Planning and Budgeting Cloud Workspace では、言語コードにのみ基づいて一致が試みられ、国コードは無視されます。

注: デフォルト言語に選択した設定は、Planning and Budgeting Cloud Workspace 内のすべてのコンポーネントに適用されます

ユーザー・ログオフ後の URL のリダイレクト

カスタム・ポータルへの統合を容易にするために、管理者は、ユーザーが Planning and Budgeting Cloud Workspace をログオフした後に、Web ブラウザを任意の静的 URL

にリダイレクトできます。これは、Planning and Budgeting Cloud Workspace サーバー設定で構成できます。[Planning and Budgeting Cloud Workspace サーバー設定へのアクセス](#)を参照してください。デフォルト値では Planning and Budgeting Cloud Workspace のユーザーがログオフされます。

クライアント・インストーラへのアクセスの削除

管理者は Oracle Smart View for Office、予測プランニング、Financial Reporting Studio、プランニング管理拡張機能、および EPM 自動化のインストールを可能にする、「インストール」メニュー・オプション(「ツール」、「インストール」の順に選択)を非表示にできます。この設定は、Planning and Budgeting Cloud Workspace サーバー設定で構成できます。[Planning and Budgeting Cloud Workspace サーバー設定へのアクセス](#)を参照してください。

アイテムとフォルダの編成

Planning and Budgeting Cloud Workspace が効率的に機能するようにするには、ユーザーがアイテムに素早く簡単にアクセスできるようなフォルダ構造にします。フォルダの階層では、フォルダ・サイズと階層の深さのバランスを取ります。フォルダには、多数のアイテム、またはフォルダ階層の過度の数のレベルを含まないようにします。特定のフォルダを削除しないでください。

コピー

サービスを複製します。

「コピー」ダイアログ・ボックスのフィールド 説明

新規構成の名前	新規サービス構成の名前を入力します。
新規構成のポート範囲	新規サービス構成のポート範囲を入力します。

Financial Reporting 注釈の検索と管理

注:

Planning サービス管理者とパワー・ユーザーは、注釈サーバー上のすべての注釈にアクセスできます。

注釈の検索

Planning and Budgeting Cloud Workspace の「検索」オプションを使用して、指定した条件に基づいた注釈のリストを戻します。

注釈を検索するには:

1. Planning and Budgeting Cloud Workspace から、「ナビゲート」、「管理」、「注釈」の順に選択します。

デフォルトでは、初期画面には注釈は表示されません。

2. 検索方法を選択して「検索」をクリックします。

- **すべて** - タイトル、作成者、説明、コンテキストまたはカテゴリ内のテキストに基づいた検索。大文字小文字を区別しないテキスト、後端アスタリスクおよびワイルドカード文字列を使用できます。
- **タイトル** - タイトル内のテキストに基づいた検索。大文字小文字を区別しないテキスト、後端アスタリスクおよびワイルドカード文字列を使用できます。
- **作成者** - 作成者内のテキストに基づいた検索。
- **カテゴリ** - カテゴリの検索。
- **説明** - 説明内のテキストに基づいた検索。大文字小文字を区別しないテキスト、後端アスタリスク、およびワイルドカード文字列を使用できます。
- **コンテキスト** - データ・ソース、要素名および要素値に基づいた検索。

既存の注釈に対してデータ・ソースが表示されます。「Financial Reporting」データ・ソースは注釈がレポートに付けられていることを示します。注釈がオブジェクトに設定されている場合、「Financial Reporting」データ・ソースが表示されます。「Planning」データ・ソースは注釈がグリッド・データ・ソースに付けられていることを示します。複数の要素値を指定するには、カンマ(,)で各値を分けます。1つの値のみが満たされている必要があります。

- **詳細検索** - タイトル、作成者、説明、転記日付範囲、カテゴリまたはコンテキストの組合せに基づいて、検索を定義します。
3. 注釈のコンテンツを表示するには注釈をクリックします。

削除済の注釈を持つレポートは、警告(!)アイコンとともに表示されます

注釈と関連付けられたレポートの表示

1 つ以上の注釈に関連付けられているレポートとその添付ファイルを表示できます。注釈の要約行は、レポートの各注釈に表示されます。

注釈に関連付けられたレポートを表示するには:

1. 「注釈マネージャ」を開き、注釈を検索します。
2. 注釈を右クリックして、「レポート/ドキュメントの表示」を選択します。
3. エラーが発生した場合、レポートのデータ・ソースが変更されているかどうかを確認します。

レポートの注釈アイコンは、注釈の参照の場所を示します。目のアイコンは、読取り専用のレポート/ドキュメントと関連付けられて注釈に対して表示されます。

注:

レポートを表示しようとする際にエラーが発生した場合、レポートのデータ・ソースが変更された可能性があります。注釈に対してデータ・ソースを一致させる必要があります。

注:

「名前変更」メニュー・オプションを使用して Planning and Budgeting Cloud Workspace でレポート名が変更された場合、どのオブジェクトレベルの注釈も名前変更されたレポートに関連付けられたままになります。ただし、その名前が Financial Reporting Studio の名前を付けて保存...オプションを使用して変更された場合は、複製されたレポートおよび元のレポートのどのオブジェクトレベルの注釈も、新しい名前のレポートにはコピーされません。

注釈への返答

管理者は、権限の設定にかかわらず、すべての注釈に返答できます。

注釈に返答するには:

1. 「注釈マネージャ」を開き、注釈を検索します。
2. 次のいずれかを行います:
 - 注釈を右クリックして、「返答」を選択します。
 - 注釈をダブルクリックします。
 - 注釈をハイライトし、「返答」アイコンをクリックします。

注釈の削除

管理者は、権限の設定にかかわらず、注釈を削除できます。

注釈を削除するには:

1. 「注釈マネージャ」を開き、注釈を検索します。
2. 次のいずれかを行います:
 - 注釈を右クリックして、「削除」を選択します。
 - 注釈を強調表示して、「削除」アイコンをクリックします。

注釈に対するソースの変更

注釈に対するソースを変更するには:

1. 「注釈マネージャ」を開き、注釈を検索します。
2. 注釈を右クリックして、「ソースの変更」を選択します。
3. 目的のソース・オプションを変更します。
 - タイプ
 - サーバー
 - アプリケーション
 - データベース

「タイプ」は常に「Planning」です。レポートをテスト環境から本番環境に移動する場合以外、「サーバー」および「アプリケーション」はそのままにします。「データベース」は各種プラン・タイプを表します。

4. データ・ソース条件を満たすすべての注釈にソース変更を適用するには「すべての注釈に適用」を選択します。また、強調表示した注釈にのみ要素変更を適用するには「すべての注釈に適用」を選択解除します。

強調表示した注釈にのみソース変更を適用するには、チェック・ボックスを選択解除します。

5. 「OK」をクリックします

確認メッセージに変更済ドキュメントの数が表示されます。変更済のドキュメントはリストで強調表示されます。

セル・テキスト、プランニング・ユニットの注釈、およびドキュメントの添付ファイルを注釈として表示

セル・テキストを注釈として表示オプションを使用して表示される Planning and Budgeting Cloud Workspace の注釈は、表示専用です。これは、Planning and Budgeting Cloud Workspace で作成された Oracle Hyperion Financial Reporting 注釈にのみ適用されます。

注釈コンテキスト要素の変更

特定のデータ・ソースに関連付けられた注釈に対してディメンションまたはディメンション・メンバーの値を変更します。

注釈に対するコンテキスト要素を変更するには:

1. 「注釈マネージャ」を開き、注釈を検索します。

2. 注釈を右クリックし、「**要素の変更**」を選択します。
「**要素の変更**」ダイアログ・ボックスは、現在のデータ・ソースで表示されます。
3. 「**要素の変更**」ダイアログ・ボックスで、次を行います:
 - データ・ソースを選択します。
 - オプションを選択します:
 - **要素の変更** - デイメンションを変更します。「**置換**」でデイメンションを選択し、「**置換後の文字列**」で新規デイメンションを入力します。
 - **要素値の変更対象** - デイメンションおよびメンバーを変更します。「**置換**」で新規デイメンションを選択し、「**置換後の文字列**」でメンバーを入力します。
 - 「**すべての注釈に適用**」を選択して、要素変更をデータ・ソース条件を満たすすべての注釈に適用します。また、「**すべての注釈に適用**」を選択解除して、要素変更を強調表示した注釈にのみ適用します。
4. 「**OK**」をクリックします。
確認メッセージで新規要素に変更された注釈の数が表示されます。変更済のドキュメントはリストで強調表示されます。

注釈権限の変更

注釈権限は、ユーザー、グループまたは役割に基づいてアクセス・レベルを定義します。権限を設定するには、注釈を右クリックし、「**権限**」を選択します。次の権限を設定できます:

- **アクセスなし** - ユーザーは注釈を参照できません。
- **表示** - ユーザーは注釈を表示できます。
- **変更** - ユーザーは注釈に返答できますが、削除できません。
- **フル・コントロール** - ユーザーは、注釈への権限を表示、返答、削除および設定できます。

注釈の監査

作成日や最終変更日などの注釈に関する情報は、一般的な監査およびコンプライアンス・レポートには不可欠です。Financial Reporting レポートに関連する注釈の注釈情報は、Oracle Hyperion Financial Reporting サーバー上で AnnotationAudit.log ファイルに記録されます。このファイルには、注釈ごとに次が含まれます:

- 実行されたアクション: 作成、応答または削除された注釈
- 注釈のタイトル
- 注釈に関連するデータ・ソース
- 注釈のコンテキスト
- 注釈を追加、変更または削除したユーザーのユーザー ID
- 注釈が作成、変更または削除された日時
- 注釈に関連するレポートの名前およびパス

-
- 注釈に関連するオブジェクト・タイプ(グリッド、チャート、イメージ、テキスト・ボックス)

Financial Reporting の AnnotationAudit.log ファイルは、
MIDDLEWARE_HOME/user_projects/domains/EPMSysystem/servers/
FinancialReporting0/logs にあります。

注:

注釈権限の変更は記録されません。

他の Financial Reporting オブジェクトと同じ名前を持つスナップショット・ブックを開く

次の URL を使用して、他の Oracle Hyperion Financial Reporting オブジェクトと同じ名前を持つスナップショット・ブックを開きます:

```
http://servername:portNumber/workspace/browse/get/Smartcut%20Folder/report_name?
mimetype
=application/hyperion-reports-snapshot_book
```

Latest=true を mimetype 変数とともに使用して、最新のオブジェクトを取得します:

```
http://servername:portNumber/workspace/browse/get/Smartcut%20Folder/report_name?
mimetype
=application/hyperion-reports-snapshot_book&Latest=true
```

Version=1 を mimetype 変数とともに使用して、最新のオブジェクトや、オブジェクトの出力の特定バージョンを取得します:

```
http://servername:portNumber/workspace/browse/get/Smartcut%20Folder/report_name?
mimetype
=application/hyperion-reports-snapshot_book%version=1
```

次に、Financial Reporting オブジェクトに対する mimetype 変数の可能性のある値を示します。これらの値は、Financial Reporting リポジトリにある V8_METATYPE 表の NAME フィールドから取得されます。Financial Reporting 関連オブジェクトを含む DESCRIPTION フィールドを探し、MIME タイプの変数で使用する対応する NAME フィールドを取得します。

V8_METATYPE の値:

- application/hyperion-reports-report
- application/hyperion-reports-snapshot_report
- application/hyperion-reports-book
- application/hyperion-reports-snapshot_book

